

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成31年3月22日 (2019.3.22)

【公開番号】特開2017-146474(P2017-146474A)
 【公開日】平成29年8月24日 (2017.8.24)
 【年通号数】公開・登録公報2017-032
 【出願番号】特願2016-28496(P2016-28496)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 21/18 (2006.01)

G 0 3 G 21/16 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/18 1 2 1

G 0 3 G 21/16 1 4 7

G 0 3 G 15/00 5 5 1

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月1日 (2019.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

感光体と、前記感光体に作用し、中空の芯金軸と前記芯金軸を被覆する被覆層とを有するローラと、前記ローラを回転可能に支持するローラ支持部と、前記ローラの長手方向に関して前記ローラの位置を規制する規制部と、を備えるカートリッジにおいて、

前記ローラは、前記芯金軸に嵌合して固定される端部部材を有し、前記端部部材は、前記芯金軸に固定された状態で前記芯金軸の前記長手方向の端部を覆うフランジ部と、前記規制部に当接することで前記ローラの前記長手方向の位置が規制される被規制面と、を備えていることを特徴とするカートリッジ。

【請求項 2】

前記被規制面は、前記フランジ部の前記ローラの前記長手方向の外側に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載のカートリッジ。

【請求項 3】

前記ローラの回転軸線を中心とした前記被規制面の最大外径は、前記ローラの前記回転軸線を中心とした前記フランジ部の最大外径より小さいことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のカートリッジ。

【請求項 4】

前記被規制面は、前記芯金軸の前記長手方向と直交する面であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載のカートリッジ。

【請求項 5】

前記ローラを前記感光体に向けて付勢する付勢部材を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載のカートリッジ。

【請求項 6】

給電部から給電を受ける給電部材を有し、

前記ローラは、前記給電部材と接触する前記付勢部材を介して給電されることを特徴とする請求項 5 に記載のカートリッジ。

【請求項 7】

前記給電部材は、前記長手方向に関して、前記感光体に駆動力を入力される側とは反対側に設けられていることを特徴とする請求項 6 に記載のカートリッジ。

【請求項 8】

前記ローラは、前記長手方向に関して、前記感光体に前記駆動力を入力される側が、前記給電部材が設けられている側に対し、前記感光体の回転軸を中心として前記感光体の回転方向上流側に位置するよう、前記感光体の回転軸に対して前記ローラの回転軸が傾けられていることを特徴とする請求項 7 に記載のカートリッジ。

【請求項 9】

前記ローラは前記感光体を帯電する帯電ローラであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載のカートリッジ。

【請求項 10】

前記ローラは前記感光体にトナー像を現像する現像ローラであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載のカートリッジ。

【請求項 11】

前記ローラは前記感光体に形成されたトナー像を被転写体に転写させる転写ローラであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載のカートリッジ。

【請求項 12】

感光体と、前記感光体に作用し、中空の芯金軸と前記芯金軸を被覆する被覆層とを有するローラと、前記ローラを回転可能に支持するローラ支持部と、前記ローラの長手方向に関して前記ローラ的位置を規制する規制部と、を備え、記録媒体に画像を形成する画像形成装置であって、

前記ローラは、前記芯金軸に嵌合して固定される端部部材を有し、前記端部部材は、前記芯金軸に固定された状態で前記芯金軸の前記長手方向の端部を覆うフランジ部と、前記規制部に当接することで前記ローラの前記長手方向の位置が規制される被規制面と、を備えていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 13】

前記被規制面は、前記フランジ部の前記ローラの前記長手方向の外側に設けられていることを特徴とする請求項 12 に記載の画像形成装置。

【請求項 14】

前記ローラの回転軸線を中心とした前記被規制面の最大外径は、前記ローラの前記回転軸線を中心とした前記フランジ部の最大外径より小さいことを特徴とする請求項 12 又は 13 に記載の画像形成装置。

【請求項 15】

前記被規制面は、前記芯金軸の前記長手方向と直交する面であることを特徴とする請求項 12 乃至 14 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項 16】

前記ローラは前記感光体を帯電する帯電ローラであることを特徴とする請求項 12 乃至 15 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項 17】

前記ローラは前記感光体にトナー像を現像する現像ローラであることを特徴とする請求項 12 乃至 15 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項 18】

前記ローラは前記感光体に形成されたトナー像を被転写体に転写させる転写ローラであることを特徴とする請求項 12 乃至 15 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

上記目的を達成するため、本発明の代表的な構成は、感光体と、前記感光体に作用し、中空の芯金軸と前記芯金軸を被覆する被覆層とを有するローラと、前記ローラを回転可能に支持するローラ支持部と、前記ローラの長手方向に関して前記ローラの位置を規制する規制部と、を備えるカートリッジにおいて、前記ローラは、前記芯金軸に嵌合して固定される端部部材を有し、前記端部部材は、前記芯金軸に固定された状態で前記芯金軸の前記長手方向の端部を覆うフランジ部と、前記規制部に当接することで前記ローラの前記長手方向の位置が規制される被規制面と、を備えていることを特徴とする。